

## 故郷（ふるさと）野付の自然 29

# 増え続けるエゾシカの食害



最近の冬の野付半島は、まるで北極圏のツンドラ地帯のカリブー（トナカイ）の大群のような光景が広がっています。勿論、カリブーではなく全部エゾシカの群れです。なかなか勇壮な風景で雄シカの立派な角は迫力ものですが、良い事ばかりではありません。これだけエゾシカの数が増えすぎると環境に悪影響が見られるようになっていきます。まず、野付半島は春から夏にかけて広大な原生花園が広がり、野草の美しい花が咲き誇っていたのですが、冬の間エゾシカたちがその多くを食べ尽くしてしまいます。また、それも食べ尽くすと今度は、森の中で樹木の樹皮を剥ぎ取って食べます。そうすると、森の中の多くの樹木が枯死してしまいます。エゾシカたちは、雪を掘って、僅かに出てくる青草の残りや干し草を食べています。一つの自然界のバランスが崩れると、環境にもエゾシカそのものにも、悪い影響が大きく出てきます。早急に何とかしないとといけない問題ですね。

